

日本農業新聞

種なしピーマンなど 一押し展示

大田市場で見本市

種苗会社や流通業者
でつくる青果育種研究
会は、品種見本市を東
京都中央卸売市場大田
市場で開いた。種苗会
社など16社が、関係者



種なしピーマンの説明をする横浜植木の担当者(東京都大田区)。

に注目品種をPR。加工・業務用に向く品種や機能性成分を持つ品種などを売り込んだ。横浜植木は、種がないピーマンとして加工

・業務用途で注目が高まる「タネなっぴー」を展示。種取り作業が不要で加工業者の省力化につながる。果肉が厚く加工時に崩れにく

いのも特徴。今年、種子の供給体制を強化し、販売拡大を目指す。

タネイ種苗は、機能性成分を含む「ファイトリッチ」シリーズをアピール。抗酸化作用があるアントシアニンを多く含む水菜「紅法師」やレタス「ワインドレス」は、茎や葉が紫色。「彩りを添えられるシリーズ」でもあり、加工・業務用需要が高い「同社」という。

サカタのタネは、一部産地で導入が始まる大玉トマトの新品種「SC8-173」を紹介した。同社の人気品種よりも出回りの時期を早めようと開発した早生品種。「食べ慣れた味で安定出荷に貢献できる」とし、近く種苗の販売を始める。

(後藤真唯子)